

領域10 インフォーマルミーティング議事録（案）

日時：第73回年次大会 2018年9月11日（火）12:15～

1. 領域10 運営会議（2018.6.8）報告

従来と同様に、プログラム編集委員会前の午前中に、領域10 運営会議が開かれ、領域運営に関する話題が話された。

- ・大会参加費の増額
 - 今秋季大会から実施
 - 会員一般：期日前 8000 円，記事後事前 web 8500 円，現地 10000 円
 - 学生・名誉・シニア：期日前 4000 円，記事後事前 web 4250 円，現地 5000 円
- ・次年度の正副代表・領域運営委員の選出
- ・若手奨励賞審査委員に関する確認
- ・学生優秀発表賞の申請手順文言修正
- ・プログラム小委員会，領域委員会の報告

2. 次期・次々期の領域運営体制について

次期の領域運営委員が確認された。次々期の領域副代表および領域運営委員についても以下の通り承認され、次々期副代表の寺内先生からご挨拶があった。

	2018 年後期	2019 年前期
代表	西谷 滋人（関西学院大）	池田 直（岡山大）
副代表	池田 直（岡山大）	寺内正己（東北大）
運営委員		
誘電体	堀部 陽一（九工大）	堀部 陽一（九工大）
	中島 伸夫（広島大）	符 徳勝（静岡大）
格子欠陥	森 英喜（産業技術短大）	森 英喜（産業技術短大）
	佐藤 和久（阪大電頭セ）	吉田 健太（東北大）

X線・粒子線 (X線)	荒川 悦雄 (東京学芸大)	荒川 悦雄 (東京学芸大)
(電子)	桑原 真人 (名古屋大)	桑原 真人 (名古屋大)
		森川 大輔 (東北大)
(陽電子)	オローク ブライアン (産総研)	オローク ブライアン (産総研)
(中性子・ミュオン)	山田 悟史 (高エネ機構)	
	伊藤 孝(JAEA 先端研)	伊藤 孝(JAEA 先端研)
フォノン	石井 勲 (広島大)	石井 勲 (広島大)
	中村 暢伴 (阪大基礎工)	只野 央将 (物材機構)

3. 学生優秀発表賞の申請手順について

- ・ 申請手順において期限が明確でなかったため、以下のように修正することが承認された。

【申請手順】

1. 講演(口頭発表)の申込時に、講演要旨の冒頭に「学生優秀発表賞申請」と明記してください。また氏名に続けて、在籍中の課程と学年を記載してください。(例: 領域記十郎(博士2年))
 2. 当該大会における概要原稿送信のメ切までに、学生優秀発表賞領域 10 申請書を領域 10 の Web ページよりダウンロードし、必要事項を記入するとともに、領域 10 での筆頭講演発表(含ポスター発表)が申請大会での口頭発表を含め、累計 3 回以上となることを証するための講演発表概要の写し(3 件以上)を領域 10 当該分科の運営委員(メールアドレスは領域 10web ページ参照)に電子メールで送付してください。
 3. 講演(口頭発表)前までに、申請手順 2 で送付した学生優秀発表賞申請書と講演発表概要の写しを口頭発表時の座長に必ず手交してください。
- 注 1. 上記申請手順 1, 2, 3 をそれぞれの締め切りまでに行わなかった場合、審査対象外となります。
- 注 2. 発表概要のない講演は審査対象として含むことができません。
- 注 3. 上記の各要件を満たすことが自動的な授与を意味するものではありません。

- 学生優秀発表賞の申請を講演申込時の Web 入力画面に追加する案について領域 1 から申し入れがあった。これは学生が賞の申請を忘れて見落としたりすることを防ぐためのものである。この案を学会へ共同で提案することに領域 10 も賛成することが承認された。
- 領域 10 の受賞細則において定められている学生優秀発表賞の評価に関して、従来の学生奨励賞の評価シートのフォーマットを使用して評価を行うこととした。また、その評価に基づいて賞の最終判断を行う各分科の運営委員が各申請者の評価シートと提出書類を保管することとした。各分科の運営委員が、申請から書類提出、評価シート、そして領域代表への受賞者の連絡までを一貫して行うことになる。詳細については明文化しておくべきという意見があり、今後のインフォーマルミーティングで決めていくこととした。

4. 若手奨励賞について

- 領域 10 細則で要求されている研究題目の記載欄が申請書になかったため追記されたことが報告された。また、物理学会の要項では研究題目が求められていないため、将来的に領域 10 細則から削除を検討することが提案され、各分科で意見を聞いていただくことが依頼された。

※後日(18/9/18ML へのメールにて)以下の変更を確認。若手奨励賞の研究題目に関して学会事務局に問い合わせたところ、理事会への提出フォームの関係から必要との回答が領域インフォーマルミーティング後にあった。そのため、領域代表の西谷先生から、「領域 10 細則から研究題目を削除するのではなく、会誌掲載文字列（全角 40 文字以内）および英文をあらかじめ申請書に加える」という提案が運営委員メンバーリスト上でなされ、今後この件に関して議論していくこととした。

- 書類提出の行き違いを防ぐため、「書類送付は簡易書留とし、申請者は送付したことを領域代表へメールで通知し、領域代表は書類受理を申請者へメールで連絡する」という提出方法とすることが承認された。
- 現評価委員は非公開であるが、過去の評価委員については開示可能であり、領域代表の西谷先生から紹介があった。次期の委員を指名・依頼する際に参考にされたい場合は、領域代表などへ問い合わせいただく。

5. 代議員候補者の推薦について

第 75～76 期の代議員候補者の推薦の依頼が来ており、領域 10 には 3 名の推薦数が配分されている。学会全体の情報が得られるメリットがあり、各分科から出て頂く方が良い。そのため、4 分科から 1 名ずつ選出していただき、うち 1 名分については立候補として出ていただくこととなった。立候補の人数もある程度必要であるため望ましいと考えられる。

6. 講演概要集の提出状況について

学会から今秋季大会の講演概要集の提出状況が送られてきており、領域 10 は提出率が 93.8%（講演者数 97，提出数 91）であった。